

次世代シーケンサーを用いた薬剤耐性アシネトバクター院内アウトブレイク の高精度分子疫学解析

1. 研究の対象

2012年8月～2013年12月までに防衛医科大学校病院に入院された方で、入院中の細菌検査(通常検査・保菌調査)で薬剤耐性アシネトバクター(MDRA)が検出された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・期間

薬剤耐性アシネトバクター(MDRA)とは、様々な抗菌薬に対し耐性を獲得したアシネトバクター菌のことを指します。アシネトバクターは肺炎、血流感染、尿路感染、手術部位感染などの原因となり、特に免疫が低下した状態では重篤な感染症となることがあります。特に MDRA による感染症を発症した場合には治療選択肢が極めて限られ、医療上の大きな問題となります。

また、MDRA は院内感染として他の患者にも広がりやすい特徴を有する菌であり、国内でも多くの施設内大量発生の報告があります。複数の患者さんが発生した場合(アウトブレイク)、各種感染対策の強化の一環として疫学調査が行われます。この際、近年では、より低コストに菌の全遺伝子情報が取得できる次世代シーケンサーを用いることで、より高精度かつ正確な疫学調査を行う試みが行われています。

我々の研究グループでは、MDRA の病院内での広がりを調査し、次世代シーケンサーを用いた解析から、疫学調査における有用性を評価する目的で研究を行うことといたしました。

研究期間は学校長承認後から 2023 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究はあなたの診療情報のうち、年齢、性別、入院期間、入院中の病名、入院病棟、使用された抗菌薬の情報、受けた医療処置などを調査し、その結果を匿名化して利用します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

得られた個人情報、防衛医科大学校の個人情報管理者の指導のもとで、本研究に携わらない医療安全・感染対策部 高見澤一穂が個人情報を厳重に管理し、公的な公表に際しては匿名化を行い個人が決して特定されないように留意します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

資料 3

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありませんが、既に発表・公表した内容については変更ができない場合もありますのでご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：埼玉県所沢市 3-2 防衛医科大学校病院

電話：04-2995-1511

所属・氏名：医療安全・感染対策部 藤倉雄二（研究責任者）